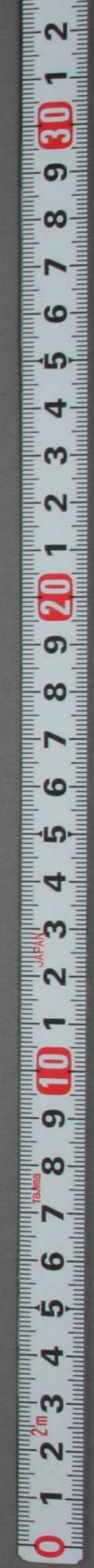




日本社会主義

民族と日本社会主義

特別
26
9291
4



四、^以自利主義の^結結果として^現現の^種種々^の階級に^分分れる

五、民族主義の^發發する^にに^由由る

六、^進進歩の^力力^をを^失失する^にに^由由る

七、^進進歩の^力力^をを^失失する^にに^由由る

七、^進進歩の^力力^をを^失失する^にに^由由る

○問題

一、米利對立ノモト由ルニ民族の地之ヲナシルカ

二、民族地之ヲ有スルニ在テハ其ノ^進進歩^の力^をを^失失スルカ

三、^進進歩^の力^をを^失失スルニ^由由る

四、^進進歩^の力^をを^失失スルニ^由由る

五、^進進歩^の力^をを^失失スルニ^由由る

六、^進進歩^の力^をを^失失スルニ^由由る

七、^進進歩^の力^をを^失失スルニ^由由る



○民族の布質

(一) 民族ハ歴史的存在ナリ——生成シ衰化

シ没スルモスル

(二) 社会史のミレバ血族団体——部族——部

族同盟——古代の家——中世封建の家——近世

習俗の移り口家——オイテ存在ス——古代ハ人

種對之多シ——中世ニオイテ人種的範疇が階

級的範疇ニ转化シ、民族的統一が成ル——

近代社会ニオイテ民族が統一の政治經濟學

位トシテ機能ス——(階級内已別最格ナル所

Blank page with faint grid lines and a red scribble at the top.

アハ統一の十民族を識ハ原始ナルヲ免レタ
 三、民族ハ自然発生的ナ協同社会ナリ
 利発的社會ニアラズ
 利発的ハおの理知以テ
 的ナ相互愛的結合ナリ

四、民族ヲ特徴ツケルモノ

一、史的傳統ノ同一

二、言語ノ同一

三、民族感情、世界観、道德意識ノ同一

四、風俗習慣ノ同一

五、同一經濟体系

五、民族ハ人間集團ナリ、ソノ強弱ハ
 決定スルハ生ノ本能ノ強弱ニアリ、
 一、國家ノ廣狹、資源ノ多少、人口數ナドハ原因ヨリモムシ
 口結果ナリ

六、市鎮ハ廣イ意味ヲ感情ヲアル、
 一、民族感情ハ郷土感情、家族感情ニ似ル、内部發展
 的愛着感情ナリ、
 一、國家感情ト結び易シ、
 國家感情ハ協力意識ナリ、
 對外的戰鬥感情ナリ、
 一、大民族トナレバ
 一、國家感情ト結ブコト多

シ

出、民族感情ノ自覚化——人間ハ向上ノ
 心ヲモツ、自然的感情ノナカニモ向上ノ志向
 ヲ含ム——之ヲ自覚化サネバナラヌ——
 民族ノ志向スル向上ハ文化、社会主義、
 ③世界平和ナドナル——ソレヲニ貢献スル
 限リニオイテソノ民族ハ進歩的ナル——
 ソレヲニハ民族ヲ腐敗セシムル階級ニ對スル
 戦ヒヲ含ム——民族的誇リガカカル自己内部
 ノ浄化ト文化的努力ヲナシウルモノニオイテ
 成立スル、

○民族ノ自覚性

一、各民族ハ個性ヲ有ス。——個性ハ独自性
 ナル。——一民族ハ絶対的ニ優越スルトイ
 フコトトナイ。——獨自的ナモノノ綜合ニヨ
 リテ世界史ガ成リ立ツ。
 二、独自性ハ世界記（生成的、歴史的、思想的、系記的）
 能力（政治、軍事、文化、経済的ナル）性格（感情的、理智的、
 系記的、思想的）ニ於テ現レル。
 三、民族ハ衝突スルモノカ、協働スルモノ

九。——民族ヲ特異ツケルモノモ生ノ本能ニア
 ル。——カナシノ生活ハナイ。同[○]時ニ社会因
 係ナシノ生活モナイ。従ツテ民族ハ衝突モ協
 働モスル。——

四、衝突ハ政治的衝突ノ形ヲトル。

五、協働ハ(1)文化的(2)経済的(3)政治ノ形ヲ
 トル。(3)ハ他律的ナル。

○民族と国家

(一) 国家即民族トイフコトハナイ。——シカシ
 国家ト民族トハ折リ重ナルコトが多い。——
 国家ハ民族ナシニモ生活ヲキルカ、民族ハ同
 家ヲ欲ホセズニヲレナイ。
 (二) 大民族ハ国家ノ枠内デ生長スル。——異
 民族ハ国家ノナカデ融合統一セラレテ大民族
 トナル。歐羅巴諸民族、日本民族然リ。
 (三) 国家ハ権力ヲ掌握トスル。——ソレハ国家

内ヲ秩序化スルト共ニ、外部ニ向ツテ防衛
効ヲ有ス。——政治ニハ階級支配が働ク。

四、近代社会ハ国家ヲモ含シ利益社会
化ス。——シカシ人ハ利益社会ヲ求メラシム
モノハ愛、名誉、集團社会ハ感情ヲ憧憬ス
ル。——コノ郷愁が民族ニ導ク。——利益

社会ノ解毒が民族ヲアル。
四、国家間ノ関係ハ力ヤ利益が主軸ヲ了ん
——ソ聯ノドウマハンガリーノ求賠償云々——

○強民族と弱民族

一、強民族は強き国家をもつ。——弱民族
は弱國をもつか。又は全然またないで植民地
存在をす。

二、民族は強弱如何にかしはらば、一々主
権をもち国家を形するべきものであるか。——
その判断は世界の文化的進歩に有益であるか
否かに由る。——

三、弱民族のなかには(1)發展程のよとまつ

たもの、(2)これから大にのび(アウター民族)の、(3)発展紀
 叙はとまづていろか、史的に存在價值・固定
 していくもの(ヨーロッパ小民族)などもあす。

四、

○民族と階級

- 一、民族ノ中心ハ勤勞者ナリ——社会ハ勤勞ノ体系ナリ
- 二、社会ハ階級系列が成立シテカラ進歩シタ、お代ノ人種對立的修飾がナクナワタ——階級ハ社会的勞働ノ配分形態ヲモアル、
- 三、進歩階級ノ退歩階級ハ閉鎖ハ民族ヲ進歩セシム
- 四、社会主義運動ハ社会ヲ進歩セシム
- 五、對外化三開事ノ先導ニ立ツハ進歩的階級

級ナリ、民族同争ハ階級同争タル実態アリ、

No.

○米ソ對立ト諸民族

一、米ソ對立ハ世界ノ基干對立ナリ、ソノ布廣ハ國家對立ハ強口對立ナリ、

二、世界史ノ大勢ハ民族ノ排他的主權ノ對立ヲ許サズ、

三、アメリカ―世界資本主義ノ中心―(マルクスと)―世界ノ悩ミヲ悩ム―全是力ノ偉大ナ發展―

恐慌ハ防ギウル―ヨウロツノ復興案―世界民主化ノ真意―博愛力培養―

四、ソ聯―強國的―中在的ナ力ノ行使

— 独裁主義 — 物言カナラズ —

五、純粹ノ對立運動ハアリ得ズ、 — ヤミ

交流 — ソレミナラズ米ソ両社会ハ類似ノ点ア

リ — 東ノ主権階級ハ技術者経営者階級 —

世界ノ強シイ進歩カ作ラレツ、アル — 古^典的^的資本

之類ハ止揚セラレツ、アリ — ヒロイ意味ア社会

主義トヨビウ、

六、原子力時代 — 小国ノ独り^の存在ノ不

可能化 —

七、国連ノ意義 — 大ナル期待ナシ — 西進

● 底層下ニ小風ハ独^立ヲ係^テウルヤ — 拒否

権ノ濫用 —

○アジアの民族運動

一、ヨーロッパの小民族ヨリハ遙カニスル

レタ世界史的要素ナリ—世界、民主化ノ促進有

素—世界資本主義ノ否定要素—

二、アジア諸民族ノ解放ナクシテ世界、民

主化ハ有リエズ—

三、アジア民族運動の進歩性

一) 半植民地植民地ノ存在ハ封建的ナリ、

コレヲ打破スルハ世界ノ進歩ニ合ス

二) 亦二次大戦後ノ民族運動ハ社会主義有

素ヲ含ム—

四、インド— 抑圧経歴ナリ— 英国支配

義ノ説明

五、インドネシア— 二方の島々

六、ビルマ—

七、越南共和国—

八、朝鮮—

九、中国—

四、我がアジア民族運動ノ特色

一) 植民地経済ヲ民権獲得ハ「外」ニ求めず

内ニニ社会革命シ

- (1) インテリが指導者。
- (2) 民族資本ノ革命的役割。
- (3) 労働者農民ノ積極的参加
- (4) 外毛ノ空車ヲ政府ヲ化ス
- (5) アジア民族ノ西階的団結ノ理想 (ニカチ)
- (6) アメリカカ世界市場ヲ支配的團内ノ運動トス

No.

○日本ノ場合

- 丁、一但有るノ民族ナリ
- Ⅲ 生活力旺盛ナリ
- Ⅱ 丁史の傳統アリ
- ③ 民族的統一性アリ
- ④ 口家生活ノ訓練アリ
- ⑤ 世界進歩ノ一要素ナリ

日本ノ民族ニ對シテハ
 ① 近代ノ民族主義ノ發露
 ② 日本ノ民族ニ對シテハ
 ③ 封建的傳統ノ影響
 ④ 宗教的統一性

意欲ナシ、他ヲ善好スルヲ欲ラズ
(3) 軍國主義

三 現在ノ経済

A. 半植民地状態

- (1) 国家の力ナシ (最モ弱カク)
- (2) 政治指導
- (3) 経済の力ナシ (専ラ基礎)
- (4) 経済の振興 — 貿易 — クレジット — 信用機構 —
- (5) 競争 — 勃発 — 際ニ中立ノ可キナリ

B. 社会ソレキ

- (1) 社会の秩序ハ乱レ
- (2) 労働階級、有力地位

- (3) 農民及中々の業者者ノ保守性
- (4)

四 新ニシテ民族主義

- (1) 民族自覚の向上
- (2) 民族主義
- (3) 地域的自覚、軍國
- (4) 国内革命 — 社会主義的

五 社会主義

- (1) 民族ハソレ自身ノ経済的自覚ナリ故ニ
- (2) 社会主義ハ国家ヲ善ク、民族ニ有利ナク

九、外資導入

一、世界市場の競争に勝つて、世界市場に参入する。

二、米ソ對立の同調を維持する。

三、金貨の流通を促進し、物価の安定を期す。

四、米ソ對立の緩和を期し、文化等の交流を促進する。

五、米ソ對立の緩和を期し、

Faint grid lines and ghosting of text from the reverse side of the page.

早稲田大學圖書會

八水田印行

